

21世纪大学日语专业系列教材

5

新编综合日语

主 编 陈俊英

审 订 [日] 谷守正宽 陈多友

本册主编 王 磊

 中国宇航出版社

21世纪大学日语专业系列教材

21世纪大学日语专业系列教材

新编综合日语

5

主 编 陈俊英

审 订 [日]谷守正宽 陈多友

本册主编 王 磊

编 者 [日]谷守正宽 荣喜朝 冯运娇

审 阅 李国宁 司志武 [日]矢野研介

 中国对外翻译出版有限公司

• 北京 •

版权所有 侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

新编综合日语. 5 / 王磊主编. — 北京: 中国宇航出版社, 2013. 8

21世纪大学日语专业系列教材

ISBN 978-7-5159-0476-4

I. ①新… II. ①王… III. ①日语—高等学校—教材

IV. ①H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2013)第199032号

策划编辑 于 慧

装帧设计 锐品理想

责任编辑 刘 莹 满新茹

责任校对 王 雪

出 版 社 中国宇航出版社

社 址 北京市阜成路 8 号
(010) 68768548

邮 编 100830

网 址 www.caphbook.com

经 销 新华书店

发行部 (010) 68371900

(010) 88530478 (传真)

(010) 68768541

(010) 68767294 (传真)

零售店 读者服务部

北京宇航文苑

(010) 68371105

(010) 62529336

承 印 北京嘉恒彩色印刷有限责任公司

版 次 2013 年 8 月第 1 版

2013 年 8 月第 1 次印刷

规 格 787 x 1092

开 本 1 / 16

印 张 19

字 数 391 千字

书 号 ISBN 978-7-5159-0476-4

定 价 49.80 元

本书如有印装质量问题, 可与发行部联系调换

21世纪大学日语专业系列教材

主 编	陈俊英	(湛江师范学院)
副 主 编	孙淑华	(青岛理工大学)
	王 磊	(河南师范大学)
审 订	[日] 谷守正宽	(日本甲南大学)
	陈多友	(广东外语外贸大学)

编写委员会 (以姓氏汉语拼音为序)

陈俊英	(湛江师范学院)
程国庆	(青岛大学)
洪伟民	(上海商学院)
司志武	(暨南大学)
孙淑华	(青岛理工大学)
王传礼	(韩山师范学院)
王 磊	(河南师范大学)
王玉芝	(河北师范大学)
徐永祥	(唐山师范学院)
于卫红	(内蒙古大学)
张继彤	(上海理工大学)
张金艳	(内蒙古师范大学)
张永平	(山东政法学院)
郑爱军	(青岛理工大学)

总序

随着全球化时代的到来和我国与日本合作、交流领域的不断扩大,社会对复合型、实用型日语专门人才的需求逐年增加。为适应这种需要,近年来,我国设置日语专业的大学也在迅速增加,根据中国日语教学研究会2011年公布的数字,全国已有466所大学设立了日语专业。

然而,从教学实践来看,适用于培养社会所需的复合型、实用型日语人才的教材却不多见。为此,部分普通大学日语专业骨干教师萌发了合作编写一套实用型日语教材的想法。经过前期精心筹划和准备,以2010年初在湛江师范学院举办的“大学日语专业教学暨实用型教材建设研讨会”为契机,正式启动了本系列教材的编写工作。

一、本系列教材编写依据、原则和使用对象

本系列教材以教育部《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》和《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》(以下简称教学大纲)为指导,并参考了《高校日语专业四级考试大纲》和《高校日语专业八级考试大纲》以及日本国际交流基金等编《日本語能力試験出題基準》《新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集N1, N2, N3》《新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集N4, N5》等相关日语资格考试文献资料。

本系列教材以“学生好学,教师好教,贴近生活,注重实用”为编写原则,旨在帮助学生锤炼日语基本功,激发学习兴趣,学会学习;培养综合素质、实践能力、社会文化理解能力和跨文化交际能力;培养取得日语能力考试,专业四、八级考试等国际、国内日语资格证书的能力。

本系列教材主要适用于大学日语专业学生。根据学习或取得日语资格证书的需要,零起点或有一定学习基础的日语爱好者也可以从中任意选用。

二、本系列教材编写中的技术处理

为达到本系列教材的编写初衷,在编写时做了如下技术层面的处理:

在语法层面上,根据教学大纲要求和取得日语资格证书需要,将语法按日语能力考试N5~N1和专业四、八级考试水平由低到高分1~7级,并分别编入相对应的各册。为此,第1~5册分别相当于日语能力考试N5~N1水平,而前4册又相当于专业四级考试水平;第

6~7册继续锤炼日语基本功,提高实践能力,充实文化知识,相当于专业八级考试水平。

在内容层面上,对各册的选材范围、主题、难易梯度等进行了整体设计和安排。例如,第1~2册主要涉及日本日常生活常识、基本礼仪习惯和学习方法等话题;第3~4册主要涉及日本社会、文化、商务礼仪、环保等话题。

三、本系列教材的构成和使用

本系列教材涵盖日语专业4门必修课程,包括《新编综合日语》《新编日语听解》《新编日语会话》和《新编日语读解》。《新编综合日语》为系列教材的核心和主线,其余分册既是《新编综合日语》的补充、内伸外延,又分别承担不同的任务,各具特色。简言之,分则独立,合则系统。

本系列教材中的《新编综合日语》和《新编日语听解》各为7册,均配有教与学参考书,适用于1~7学期;《新编日语会话》为4册,适用于1~4学期;《新编日语读解》为4册,适用于3~6学期。

四、本系列教材的特点

1. 吸纳优秀教材所长,链接社会实际需求,重视学生综合素质和“即战力”的培养。
2. 引导学生学会学习,学会做人,学会做事,学会认知,提高人文素质。
3. 反映国际、国内日语资格证书考试要求和水平,把学习和获取考试证书相结合。
4. 提供立体化教学资源包:教学PPT、网络资源和互动博客等。

本系列日语教材的问世,是集体智慧和通力协作的结晶。有湛江师范学院、上海理工大学、青岛理工大学、上海商学院、河南师范大学等十几所大学日语教师、同学和日本外教的辛劳和汗水;有日本鸟取大学、新潟大学等几所大学日语教育专家以及几位媒体资深记者的鼎力相助;有北京大学、北京师范大学、北京外国语大学、广东外语外贸大学等诸位专家在百忙中的热情支持;有著名外资企业高管提供的宝贵素材和相关建议;同时还从现有多种优质教材中吸收了大量养分。

中国宇航出版社作为国家级品牌出版社,积极投身于我国外语教学事业,对本系列教材的出版给予了热情帮助和大力支持,并将其列为出版社“十二五”规划教材。在此,谨对以各种方式关心、帮助、支持本系列教材出版的国内外各位学者、专家、同仁和同学们一并表示深深的敬意和谢意。

由于编者水平有限,经验不足,加之时间仓促,本系列教材难免会有不少疏漏和不尽人意之处,恳请各位专家、同仁和同学们多多提出宝贵意见。

《21世纪大学日语专业系列教材》编写委员会

2011年7月

前 言

《新编综合日语》是《21世纪大学日语专业系列教材》的主干教材之一，共7册。各册均配有《新编综合日语教与学参考书》和音频文件。

本册为《新编综合日语》第5册，适合大学日语专业第5学期使用。共计15课，每课由“导语”“语法要点”“正文”等部分组成。

- “导语”提示本课的主要学习内容，帮助学生尽快进入学习状态。
- “语法要点”把本课出现的语法汇总在一起，放在正文之前，便于学习者预习和复习，做到胸中有数。

- “正文”由“本文”“語彙”“文法表現”“練習”四部分组成。

► “本文”每课大约2500字左右，内容涉及日本的传媒、终生学习、日语文章的写作方法、拟声拟态词、电脑应用、日本的政治、东京观光、住房金融、世界遗产、财阀、工厂参观、日语中体谅关心他人的表达方法、远足、国土开发计划、核问题等，富有时代性、实用性以及趣味性。

► “語彙”按单词在课文中出现的先后顺序排列，标注了假名、日语汉字、外来语词源、声调、词性和汉语释义。在进行汉语释义时，我们力求简洁。但汉日词语意义范围不同时，我们采取了加以限定的方式。例如：考察（こうさつ）[名·3动他]（为查明事物而仔细研究考虑）考察。之所以这样做，是因为“考察”在汉语中还有“实地观察调查”之义，而日语中没有。

► “文法表現”网罗了全部前4册未出现的新国际日语能力考试N1级句型。从语源、接续方法、意义、用法，以及近义句型对比等方面进行了说明，力求准确、简洁。

► “練習”是检验、巩固、活用所学知识，提高应用能力的重要一环。每课共有8项练习，按照新国际日语能力考试N1级的要求设计。第1、2、3题为词汇练习，旨在提高词汇的应用能力；第4、5题为语法练习，旨在提高语法的应用能力；第6题是口答题，旨在提高归纳、思考、口语能力；第7题为汉译日，旨在巩固语法、提高翻译能力；第8题为阅

读理解题,由两篇文章构成,是“本文”内容的延伸、扩展,旨在扩大视野、提高阅读能力和文化感知力。

本册王磊负责总体设计、统稿、定稿以及“練習”第1、2、3题的编写。其他编写工作的具体分工:谷守正宽负责“本文”以及“練習”第6、8题的编写;王磊、冯运娇负责“語彙”的编写;荣喜朝负责“文法表現”以及“練習”第4、5、7题的编写。

由于时间仓促,水平有限,经验不足,难免存在欠缺或纰漏之处,敬请各位专家、学者、同仁和同学们批评指正。

编者

2013年7月

目次

1	第1課 日本のマスコミ
19	第2課 日本の生涯学習について
37	第3課 日本語の文章の書き方
57	第4課 日本語のオノマトペ
79	第5課 日本の授業におけるパソコン事情
97	第6課 日本の政治
113	第7課 東京の歩き方
134	第8課 日本の住宅金融市場（住宅ローン）
151	第9課 日本の世界遺産・名所旧跡
170	第10課 日本の財閥
188	第11課 日本における工場見学について
203	第12課 日本語の「気配り」というもの
219	第13課 遠足と自然の恵み
235	第14課 日本の国土計画の今後
251	第15課 日本の核問題
269	付録
294	主な参考文献

第1課 日本のマスコミ

导语

信息化时代的今天，媒体与我们日常生活的关系越来越紧密。日本大众传媒有何特点和问题？传统媒体的前途如何？出路又在哪里？

语法要点

1. ～とはいえ（ども）
2. ～こそあれ／すれ
3. ゆえ（に）
4. ～ともなると／～ともなれば
5. ～っぱなし
6. ～と思いきや

本文

一般に新聞社や放送局や出版社等を指す「マスコミ」という日本語は、実は間違いかもしれない。マス（mass）とは「大規模の」「大衆の」といった意味があり、「コミ」とは「コミュニケーション」（communication）の略であるから、マスコミとは文字通り「大規模な情報伝達」という意味になるからだ。正確には「マスメディア」（mass media）と言うべきである。「マスコミ」が誤用かもしれないとはいえ、略語と考えればまんざら間違いでもない。つまり、大規模情報伝達媒体という意味の「マス・コミュニケーション・メディア」の頭を取ればマスコミになる。日本語は曖昧でありこそすれ、自由に使える点では便利でもある。いずれにせよ、ここでは「マスメディア」の意味で定着した「マスコミ」という語を使って述べよう。

マスコミは一般大衆に向けて放送や新聞・雑誌やインターネット等の媒体を通して情報を伝えるが、言うまでもなく、世論を形成するためにそこには高い公共性が求められる。ところが、日本は先進国こそあれ、他の先進国とは大きく異なる点がある。その中でもユニークなのは新聞の宅配制度であろう。日本では多くの新聞が毎日各家庭に宅配されるのである。海外では一般に新聞は街頭か駅で買うものである。日本ではこの制度のおかげで安定した売り上げが期待できるゆえ、良質の記事を載せて売り上げを伸ばそうという競争原理が働かなくなる可能性が指摘されることがある。情報が劣化する恐れも出てくる。読者は長期間の購読契約をするために、決まった新聞だけを受動的に読むことになる。かつては購読契約をするとたくさん景品をもらったり、一定期間無料にしてくれるサービスが横行したものである。新聞の安売りともなるとまるでバーゲンセールのようなものであるから、いただけない。ちなみに、日刊新聞の部数をみると、合計で5千万部を超える部数が発行されているが、これは第3位のドイツの2倍以上であり、第2位のアメリカを抜き、世界で一番多いのである。読者率では日本が90%を超えており、やはり主要国の中で最も高い。

次に日本のマスコミの問題点として、記者があまり調査せずに報道するということと言われる。それはなぜかと言えば、記者クラブという組織が多くの御上、いわゆる官公庁や警察等に記者室を持っており、情報を簡単に収集できるからである。記者クラブに加盟していないジャーナリストや週刊誌、さらには海外メディア等は取材が十分にできないことがある。記者クラブが御上からもらう情報を流しっぱなしになってしまえば、記者の取材能力が高まることも期待しにくい。わざわざ調査を行う気にならないだろう。ほかの問題点としては、匿名の記事が多く、検証や誤報に対する謝罪が足りないと言う人もいる。

放送界について述べると、日本のマスコミの特徴は、大手の新聞会社とテレビ局が系列化されていることであろう。これはクロスオーナーシップ（cross-ownership）と呼ばれるが、欧米先進国には見られないものである。具体的に日本でも馴染みのマスコミを挙げて言えば、朝日新聞がテレビ朝日を、毎日新聞がTBSを、読売新聞が日本テレビを、産経新聞がフジテレビを、日経新聞がテレビ東京をというふうに、大手新聞社がテレビ局を系列化している。言論は多様性が保たれ、相互の監視機能が働くことが健全であるが、新聞社がテレビ局の株主として影響力を持っていると、新聞と放送の両メディアが相互にチェックしづらくなることは容易に予想できよう。

日本のテレビをみていると、特に不思議なのが、門外漢のコメンテーターが意見を述べていることである。報道番組に有名なタレントや歌手が出ているかと思いきや、政治問題や社会問題についてコメントをしていることがある。有名人を使って視聴率を稼ぐためであろうか。ただし、専門外でも有名人をテレビに出せば、たくさんの人がみるようになって、難しくて無関心だった政治・社会問題についてより多くの人が理解するようになるかもしれないので、良い面もある、一長一短である。また、テレビなのに新聞記事をそのまま画面に映していることがある。各社の新聞記事を読みながらコメントをするというのも日本のメディアらしい、テレビと新聞の持ちつ持たれつ の関係を表している。

さて、日本に限らず世界中で新たな媒体も出てきている。インターネットである。マスコミとはやや言い難いが、大規模情報伝達という本来の意味では文字通りマスコミであろう。そこでは膨大な情報コンテンツが流通してきており、既存のマスコミは凋落しつつあるとも言われる。たしかに、個人のブログやSNS（Social Networking Service）などでは膨大な情報が流され、世論を形成することもありうる。しかしながら、そうした情報には既存の情報をコピペ、つまりコピー&ペーストして、少しコメントを付けただけのものが多い。

既存のメディアであるテレビの時代はもうすぐ終わるかと思いきや、テレビも進化している。テレビがデジタル化された現在ではただ単に画像が綺麗なだけではなく、視聴者がメールで送った意見を同時にテレビに写しながら、出演者がそれについて即座にコメントをしたり、携帯電話などから投票してもらってアンケート結果をすぐにテレビで公開するなど、ネットとの融合と双方向の情報共有が実現しており、必ずしも将来テレビがなくなるというわけでもなさそうである。

無尽蔵に噴出する膨大な情報の中から本当に貴重な情報だけを厳選し、問題を掘り下げて分析し、一般人には出来ないコンテンツとして編集・情報発信するマスコミであれば、今後とも必要とされ、生き残ると思われる。

語彙

大衆 (たいしゅう)	①	[名]	大众, 群众
略 (りやく)	①②	[名]	略, 省略
伝達 (でんたつ)	①	[名・3动他]	(命令和联络事项等) 传达, 传输; (神经纤维的兴奋等) 传导, 传递
誤用 (ごよう)	①	[名・3动他]	误用
略語 (りゃくご)	①	[名]	略语, 简略语, 缩写词
まんざら	①	[副]	(下接否定语) 未必
媒体 (ばいたい)	①	[名]	(引荐搭桥、作媒介的人或事物) 媒介, 介质; (信息传播的媒介手段, 如报纸、广播、电视等) 媒体
世論 (せろん)	①	[名]	舆论
先進国 (せんしんこく)	③	[名]	发达国家
宅配 (たくはい)	①	[名・3动他]	(报纸、牛奶、行李等) 送货上门
街頭 (がいとう)	①	[名]	街头
売り上げ (うりあげ)	①	[名]	销售额, 营业额
良質 (りょうしつ)	①	[名・2形]	优质
記事 (きじ)	①	[名]	(报纸、杂志等的) 报道, 消息; 纪实。“記事文”之略
伸ばす (のばす)	②	[1动他]	(使之向好的方面发展) 提高, 增加; (指增加长度) 拉长, 放长; (弯曲、萎缩的东西) 弄直, 弄平; (植物) 伸长枝蔓; (不加修剪地留长头发、指甲等) 留长; 伸直
競争 (きょうそう)	①	[名・3动自他]	竞争
原理 (げんり)	①	[名]	原理
劣化 (れっか)	①	[名・3动自]	(质量、性能等随时间推移变坏) 恶化
恐れ (おそれ)	③	[名]	担心, 忧虑; 畏惧, 害怕, 恐惧
読者 (どくしゃ)	①	[名]	读者
購読 (こうどく)	①	[名・3动他]	订阅 (书籍、报刊杂志等)
契約 (けいやく)	①	[名・3动他]	契约, 合同

受動（じゅうどう）	①	[名]	（受外部推动或作用而行动）被动，从动
景品（けいひん）	①	[名]	（商店或各种活动送给顾客、参与者的）随赠品
横行（おうこう）	①	[名・3动自]	恣意妄为，横冲直撞
安売り（やすうり）	①	[名・3动他]	贱卖
バーゲンセール (bargain sale)	⑤	[名]	大甩卖，廉价销售
いただける	①	[2动自]	“いただく”的可能态。可以接受；相当好；能同意
ちなみに	①	[接续]	顺便说一下
日刊（にっかん）	①	[名]	（每日发刊）日刊
部数（ぶすう）	②	[名]	书籍、杂志等出版物的数量
抜く（ぬく）	①	[1动自他]	超过；拔，抽出，拔掉；排除，放掉，清除；省略
組織（そしき）	①	[名・3动自他]	组织
御上（おかみ）	②	[名]	对政府、朝廷、幕府等的敬称；（对天皇的敬称）圣上
加盟（かめい）	①	[名]	加盟，加入，参加
取材（しゅざい）	①	[名・3动自他]	采访
匿名（とくめい）	①	[名]	匿名
誤報（ごほう）	①	[名・3动他]	误报
謝罪（しゃざい）	①	[名・3动他]	赔礼，道歉
大手（おおて）	①	[名]	（同行业规模大的）大户，大企业，大公司
系列（けいれつ）	①	[名]	系列
クロスオーナーシップ (cross-ownership)	⑧	[名]	交叉的所有权
馴染み（なじみ）	①③	[名]	熟悉，亲密；熟客
言論（げんろん）	①	[名]	言论
監視（かんし）	①	[名・3动他]	（警戒以防不测）监视
機能（きのう）	①	[名・3动自]	（器官、机械等）作用，功能，职能，机能
株主（かぶぬし）	②①	[名]	股东
容易（ようい）	①	[2形]	容易

門外漢 (もんがいかん)	③	[名]	门外汉
コメンテーター (commentator)	④	[名]	解说员, 评论家
タレント (talent)	⑩	[名]	(在电视等媒体演出的) 艺人
視聴 (しちょう)	⑩	[名・3动他]	(电视的收听收看) 视听
専門外 (せんもんがい)	③	[名]	非专业
一長一短 (いっちょういったん)	⑩	[名]	有长处也有短处
映す (うつす)	②	[1动他]	(将影像显现在其他物体的表面上) 放映; (投射光线) 投射, 映, 照
持ちつ持たれつ (もちつもたれつ)	①	[词组]	相互依存, 相互帮助
膨大 (ぼうだい)	⑩	[2形]	膨大
流通 (りゅうつう)	⑩	[名・3动自]	(不停滞, 流动畅通) 流通; (社会上广泛使用) 流通; (货币、商品等在市场上流动) 流通
既存 (きそん)	⑩	[名・3动自]	已有, 现有
凋落 (ちょうらく)	⑩	[名・3动自]	(气势) 衰退; (草木) 凋落, 凋谢
SNS (エスエヌエス: Social Networking Service)	⑤	[名]	社交网络服务
コピペ (copy and paste)	⑩	[名]	复制粘贴
ペースト (paste)	①⑩	[名]	粘贴
デジタル (digital)	①	[名]	数字的
画像 (がぞう)	⑩	[名]	画像, 画面, 图像
出演 (しゅつえん)	⑩	[名・3动自]	登台, 演出
即座 (そくざ)	①	[名]	及时, 当场
融合 (ゆうごう)	⑩	[名・3动自]	融合
共有 (きょうゆう)	⑩	[名・3动他]	共有
無尽蔵 (むじんぞう)	②	[名・2形]	取之不尽
噴出 (ふんしゅつ)	⑩	[名・3动自他]	(液体, 气体等) 猛烈喷出
貴重 (きちょう)	⑩	[2形]	珍贵, 宝贵
厳選 (げんせん)	⑩	[名・3动他]	严格审查挑选
分析 (ぶんせき)	⑩	[名・3动他]	分析; 剖析, 化验

発信（はっしん）	①	[名・3動自他]	（電波等）发出；寄信或发邮件
生き残る（いきのこる）	①④	[1動自]	幸存，残存

文法表現

1. ～とはいえ（ども）

格助詞「と」＋係助詞「は」＋四段活用動詞「言ふ」の已然形「言へ」＋（逆接を表す接続助詞「ど・ども」）。「ど・ども」はよく省略される。節を受けて、「それはそうなのだが、しかし」といった意味を表す。前の事柄から予想・期待されることと結果が食い違うような場合に用いられる。書き言葉。「～とはいいながら」「～とはいえるものの」「～と（は）いっても」に言い換えられる。

- 大人がついて行くとはいえ、子供があんな高い山に登るのは、親としては不安だ。
- 留学生とはいえ、彼はもう立派な社会人である。
- たとえ短かい一時とはいえ、日本を去るのは今は実に惜しい。

2. ～こそあれ／すれ

（1）こそあれ

係助詞「こそ」＋ラ変活用動詞「あり」の已然形。「名詞（で）・1類形容詞の連用形く・2類形容詞の連用形で＋こそあれ」の形で、「～はあることはあるが」といった逆接の意味を表す。書き言葉。

- 程度の差こそあれ、私共も罹災者です。
- 上品でこそあれ、彼女の容貌もごく十人並であった。

（2）こそすれ

係助詞「こそ」＋サ変活用動詞「す」の已然形。「名詞（を・に）・動詞の第1連用形＋こそすれ」の形で、「～するが／～しているが」といった逆接の意味を表す。書き言葉。

- 彼らは岡田の好意を喜びこそすれ、けっしてそれを悪く思うはずはなかった。
- 彼はそれらの不忠の侍をも、憐みこそすれ、憎いとは思っていない。
- 日本語は曖昧でありこそすれ、自由に使える点では便利でもある。

3. ゆえ（に）

「名詞（の）ゆえ（に）」の形で、「～が原因で／理由で」という意味を表す。「活用語の終止形・連体形（が）ゆえ（に）」の形で、節を受けて、「それが原因／理由となって」という意味を表す。古い言い方。書き言葉。

- 其の皿は実に結構な品であるゆえ、誰も見たがる。
 - 彼女は初恋の人が忘れられないがゆえに今も独身なのだ。
- ほかに、「～ゆえか／～ゆえの」の表現もある。
- 風の強いゆえか、雲が綺麗だ。
 - 貧しさゆえの犯罪というものが、聞かれなくなって久しい。

4. ～ともなると／～ともなれば

名詞・動詞の終止形につき、時間や年齢・役割・出来事などの名詞や動詞を受けて、状況が「このようなものに至った場合は」という意味を表す。後ろには、「状況が変化すればそれに応じて当然そうなるはずだ」といった判断を表す表現が続く。

- この公園は冬の間は寂しい限りだが、春ともなると桜の花が咲き、花見客でにぎわうようになる。
- 社長ともなると、来客の接待や会議で、時間に追われ、さぞ忙しい毎日なのだろう。
- 学長に就任するともなれば、今までのようにのんびり研究に打ち込んではいられなくなる。

5. ～っぱなし

動詞「放す」の第1連用形「～放し」から。動詞の第1連用形に付いて、当然すべきことをしないで「そのままにしておく／そのままではいる」という意味を表す。「V-たまま」とは違って、マイナス評価の意味が含まれることが多い。

- テレビをつけっぱなしで、ついうとうとと眠ってしまった。
- 言いつぱなしで実行しないのでは、だれも君については来ないよ。
- うちの子ときたら、食べたら食べっぱなし、服は脱いだら脱ぎっぱなしで、家の中がちっとも片付かない。

以上のほかに、「～っぱなし」は同じ事柄や同じ状態がずっと続くという意味も表す。

- うちのチームはこの頃ずっと負けっぱなしだ。
- 電車は混んでいて、横浜から東京まで立ちっぱなしでした。